

計画の名称		8 足利市における鉄道駅アクセス強化によるにぎわいのあるまちづくり														
計画の期間		平成30年度 ～ 令和4年度 (5年間)				交付対象		栃木県 足利市								
計画の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅へのアクセス道路となる都市計画道路を整備することにより、鉄道駅へのアクセス性向上を図る。 ・都市計画道路周辺を土地区画整理事業により面的な整備を行い、密集市街地の解消、都市防災性の向上、既成市街地の再生等の推進を図る。 														
計画の成果目標（定量的指標）		<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路（3・4・120号野州山辺駅北線）及びこれに接続する区画道路を整備し野州山辺駅へのアクセスの向上を行い、その利便性を受益する人口の増加を図る。 ・密集区域内の防災性向上に資する老朽化（S55以前に建てられた）建物の減少を図る。 														
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考					
								当初現況値	中間目標値	最終目標値						
								(H30当初)	(R2末)	(R4末)						
都市計画道路及び区画道路の整備率と沿線人口により、野州山辺駅へのアクセスの利便性が向上した人口を算出する。 (利便性が向上した人口) = (道路の整備率) × (沿線人口)								36人	117人	240人						
密集区域内（大日西、中央土地区画整理事業地区内）におけるS55以前に建てられた建物率を算出する。 (S55以前に建てられた建物率) = ((地区内のS55以前に建てられた建物数：243棟) - (除却された建物数)) ÷ (現在地区内にある建物数：311棟)								78%	72%	66%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	1989百万円	A	1989百万円	B	—	C	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%					
○事後評価の実施体制、実施時期																
事後評価の実施体制						事業評価の実施時期										
事業者（足利市）にて評価を実施						R4年度に完了したためR5年度に事後評価を実施										
						公表の方法										
						足利市HPにおいて公表										
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H30	R1	R2	R3	R4			
8-A-1	区画	一般	足利市	直接	足利市	山辺西部第一地区（（都）足利太田線外）	区画整理A=36.7ha	足利市							210	
8-A-2	区画	一般	足利市	直接	足利市	山辺西部第二地区（（都）毛野西新井線外）	区画整理A=39.4ha	足利市							640	
8-A-3	区画	一般	足利市	直接	足利市	大日西地区（（都）家富町堀込線外）	区画整理A=7.0ha	足利市							100	
8-A-4	区画	一般	足利市	直接	足利市	中央地区（（都）家富町堀込線）	区画整理A=4.2ha	足利市							170	
8-A-5	都再区	一般	足利市	直接	足利市	山辺西部第一地区	区画整理A=36.7ha	足利市							283	
8-A-6	都再区	一般	足利市	直接	足利市	大日西地区	区画整理A=7.0ha	足利市							228	
8-A-7	都再区	一般	足利市	直接	足利市	中央地区	区画整理A=4.2ha	足利市							158	
8-A-8	都再区	一般	足利市	直接	足利市	山辺西部第二地区	区画整理A=39.4ha	足利市							200	
									合計			1,989				
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		○野州山辺駅北線及び区画道路の整備により、駅利用者や地域住民の生活利便性の向上が図られた。 ○密集区域内の老朽化住宅の除却により、過密状態が解消され、火災による延焼の恐れや、地震の際の建物倒壊等の危険性が低下した。														
II 定量的指標の 達成状況	指標① 都市計画道路及び区画道路の整備により野州山辺駅へのアクセスの利便性が向上した人口	最終目標値	240人	目標値と実績値に差が出た要因	野州山辺駅北線及び区画道路の整備により、生活の利便性が向上し、宅地利用が増進されたため。											
	最終実績値	244人														
	指標② 密集区域内（大日西、中央土地区画整理事業地区内）におけるS55以前に建てられた建物率	最終目標値	66%	目標値と実績値に差が出た要因												
	最終実績値	76%	建物の除却交渉が難航したため、予定した建物が除却できず、目標未達となったが、引続き次期計画（令和5年度～令和9年度）において、密集区域内の防災性向上を推進する。													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）																